

各 位

2025 年 9 月 18 日
株式会社インプレス

クラウドの基礎から実務まで、これ 1 冊で丸ごと理解できる入門書
『図解でスッカリ クラウドのきほんとしくみ』9 月 18 日発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、新米エンジニアが押さえておきたい基礎知識を図解でわかりやすく解説する『図解でスッカリ クラウドのきほんとしくみ』を2025年9月18日（木）に発売いたします。



■ITインフラの基盤となったクラウドの基礎知識をこの1冊で丸ごと理解

いまやクラウドは、企業システムや社会インフラを支える不可欠な存在となりました。オンプレミスからの移行が加速し、クラウドを前提とした「クラウドネイティブ」の発想がソフトウェアやサービス開発の標準となりつつあります。こうした流れの中で、クラウドを体系的に理解し、基礎から学び直すことができる入門書へのニーズが高まっています。

リスクリングや転職といったキャリアの転換点でも、クラウドの全体像を把握し、必須の用語や仕組みを整理することは欠かせません。クラウドを理解することは、単なる技術の習得にとどまらず、変化の激しい市場に柔軟に対応できる力を養うことにもつながります。

こうした背景を受けて発売されたのが『図解でスッカリ クラウドのきほんとしくみ』です。本書は、IT業界で働く新米エンジニアや異動者に向けて、クラウドの基礎をわかりやすく整理し、実務で迷わず活かせる知識として身につけられるよう構成されています。

■図解でスッキリ理解できる誌面構成、実務で役立つ知識が身につく

本書は、クラウドの基本から導入・運用、さらにクラウドネイティブや活用事例までを体系的に解説した入門書です。1テーマごとに「左ページ＝解説」「右ページ＝図解」で展開し、難しいテーマは4～6ページにわたってじっくり解説。POINTやMEMO、会話形式のヒントも随所に配置し、初学者でも理解しやすい工夫を凝らしています。

新人や異動者が現場で必ず直面する専門用語を避けることなく用い、きちんと概念を説明することに努めました。さらにAWS、Azure、Google Cloudの3大サービスについての共通点と違いを整理しているため、どの現場でも通用する知識が身につきます。新米エンジニアや転職・リスクリングを目指す方にとって、業務の現場で即戦力となるクラウド基礎力を効率よく習得できる一冊です。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ IT業界に入ったばかりの新入社員の方
- ・ クラウドを初めて学ぶ新米エンジニア
- ・ 異動や転職でクラウド知識が必要になった方
- ・ 基礎を整理して再確認したいITエンジニア
- ・ ITの基礎知識を学んでおきたい学生のみなさん

■本書の構成

- Chapter 1 クラウドとは何か
- Chapter 2 クラウドの全体像
- Chapter 3 サーバーとネットワークの基本
- Chapter 4 さまざまなマネージドサービス
- Chapter 5 クラウドの管理とセキュリティ
- Chapter 6 オンプレミスからの移行とクラウドネイティブ
- Chapter 7 クラウドの導入と活用事例
- Chapter 8 さらにクラウドを学ぶには

■紙面イメージ

SECTION 3-6

パブリックIP IGW デフォルトVPC

インターネットとの接続

インターネットとの出入り口で変換される

インターネットと通信するには、**パブリックIP**と呼ばれるインターネットと通信可能なIPアドレスを仮想マシンに割り当てます。この設定は、マネージメントコンソールなどから作成時に、もしくは、作成後に行えます。

パブリックIPを割り当てても、仮想マシンには依然としてプライベートIPが割り当てられています。そればかりでなく、仮想マシンでは自分にパブリックIPが割り当てられていないように見えます。実際、仮想マシンにはパブリックIPは割り当てられておらず、VPCとグローバルネットワークとの出入り口で、IPアドレスの変換を通して通信しているためです。

MEMO

技術的に言うと、仮想マシンでipコマンドなどを実行して自身のIPアドレスを確認したときに、プライベートIPアドレスしか確認できないということを言っています。メタデータと呼ばれるサービスを使うと、パブリックIPを確認できます。

インターネットとの出入り口は、AzureやGoogle Cloudの場合は標準で取り付けられています。そのため、仮想マシンにパブリックIPを割り当てる設定をするだけで通信できます。対してAWSには、この出入り口がありません。インターネットと通信するには、**インターネットゲートウェイ (IGW)**と呼ばれる部品を、VPCに取り付けます。

IPアドレスの固定化

プライベートIPは、仮想マシンが最初に起動したときに決まり、それ以降、変更されないのに対して、パブリックIPは、仮想マシンを停止すると解放され、次に起動するときは別の値が設定されます。これを**動的IPアドレス**と言います。サーバーとして運用するときは、いつでも固定である**静的IPアドレス**にしたいことがあります。その場合、固定IPアドレスにする機能で構成できます。

図表3-22 パブリックIPとの変換

図表3-22は、パブリックIPとプライベートIPの変換プロセスを示しています。インターネット（203.0.113.12）はクラウドのグローバルネットワークと接続されています。グローバルネットワークはVPCの出入り口（ゲートウェイ）と接続されています。VPC内にはパブリックIP（203.0.113.12）とプライベートIP（10.0.0.5）が割り当てられています。サブネット（10.0.0.0～10.0.0.255）には、プライベートIP（10.0.0.5）とパブリックIP（203.0.113.12）が割り当てられています。変換表に基づいて接続できるようになる。仮想マシンにパブリックIPを割り当てると、この割り当てを登録する必要がある。この表は冗長なので、図示するときは省くことが多い。

パブリックIPを割り当てても、仮想マシンは依然としてプライベートIPアドレスのまま

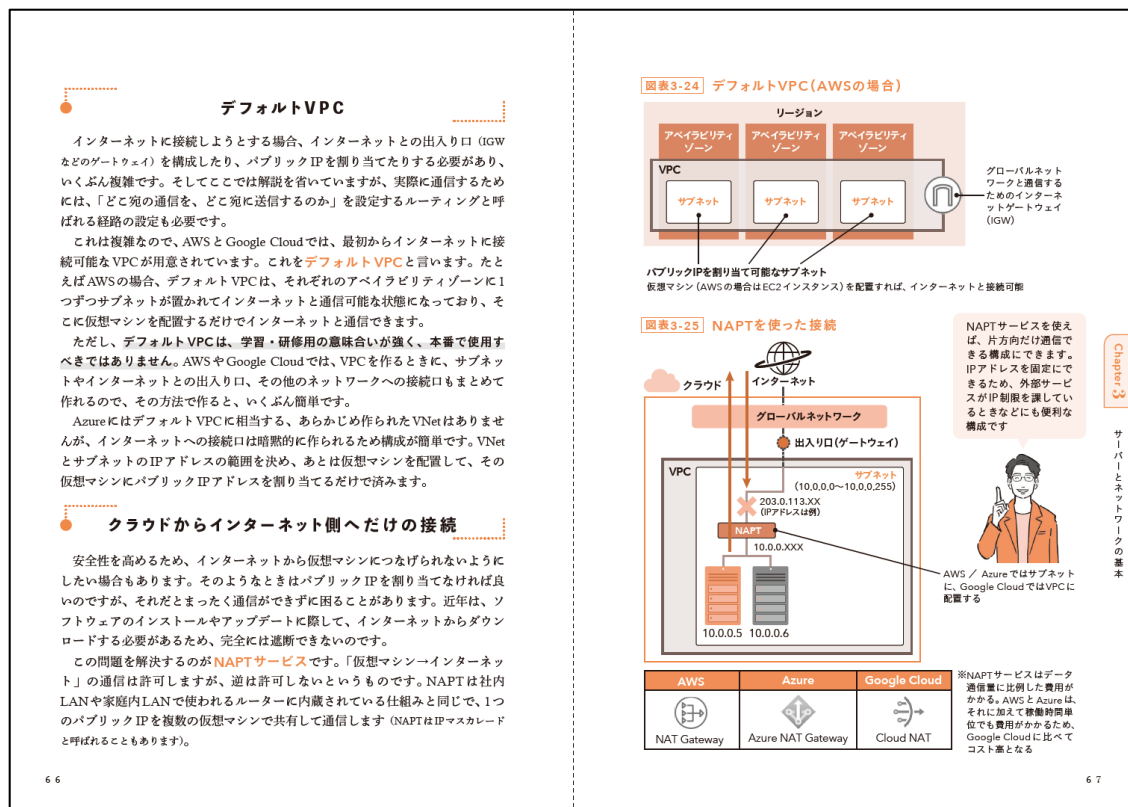
本当は仮想マシンに直接パブリックIPが割り当てられているわけではないのだが、わかりやすくするため、変換表ではなく、このように設定したパブリックIPの値を仮想マシンの近くに記載することが多い

図表3-23 各クラウドの静的IPアドレス (IPアドレスの固定化) のサービス

AWS	Azure	Google Cloud
		
Elastic IP	Static Public IP	Static External IP

Chapter 3
サーバーとネットワークの基本

1 テーマを「解説＋図解」の見開きで展開。図が大きくてわかりやすい。



難しいテーマは4～6 ページ展開を用い、大きな図解はそのままに、じっくり丁寧に解説。

■書誌情報



書名：図解でスッキリ クラウドのきほんとしくみ
 著者：大澤文孝
 発売日：2025年9月18日（木）
 ページ数：232ページ
 サイズ：A5判
 定価：1,870円（本体1,700円＋税10%）
 電子版価格：1,870円（本体1,700円＋税10%）※インプレス直販価格
 ISBN：978-4-295-02156-8

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295021563>
 ◇インプレスの書籍情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1124101104>

■著者プロフィール

大澤文孝（おおさわ・ふみたか）

技術ライター、プログラマー。情報処理資格として情報セキュリティスペシャリスト、ネットワークスペシャリストを保有。Webシステムの設計・開発とともに、長年の執筆活動のなかで、電子工作、Webシステム、プログラミング、データベースシステム、パブリッククラウドに関する書籍を多数出版している。著書に、『AWSネットワーク入門 第2版（impress top gear）』（インプレス）、『ゼロからわかるAmazon Web Services超入門』（技術評論社）、『さわって学ぶクラウドインフラdocker基礎からのコンテナ構築』（日経BP）、『ちゃんと使える力を身につける Webとプログラミングのきほんのきほん 〔改訂2版〕』（マイナビ出版）などがある。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期

雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。